NEWS RELEASE

２０２０年１２月１６日
岡山放送株式会社

OHK「手話が語る福祉」制作チームが
令和２年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰
【内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞】
テレビ局の番組コンテンツで初受賞

報道関係各位

OHK岡山放送が1993年から続けてきた放送活動「手話が語る福祉」の制作チームが、12月16日に総理大臣公邸で行われたバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰において、テレビ局の番組コンテンツとしては初めて内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞しました。

本表彰は、内閣府の共生社会政策であるバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績のあった者を顕彰し、優れた取組を広く普及させることを目的として内閣府が2002年から毎年1回実施しているものです。この度の受賞は岡山市による推薦によるもので、市の推薦団体としては初の受賞です。

「手話が語る福祉」制作チームは“手話は言語”を理念に、聴覚障害者・手話通訳者・テレビ局の3者で「手話放送委員会」を立ち上げ、的確な手話表現を追求するために放送前後に議論を重ね、27年間で277回放送を続けてきました。西日本豪雨の際は、OHKの報道特別番組に字幕を付けたDVDを作成し、全日本ろうあ連盟に50枚寄贈しました。このDVDは全国の加盟団体を通じて現在も聴覚障害者への無料貸出を行っています。他にも手話の理解を深めようと、手話講座、アナウンサー朗読会での手話通訳の実施、また昨年には手話を取り入れたオリジナル楽曲を制作し、ダンス教室の子どもたちと聾学校の生徒が共演したプロモーション映像を撮影、今もレギュラー放送しています。このような放送活動以外の取組も評価され、この度の受賞となりました。

OHKの報道制作拠点オフィス（OHKまちなかスタジオミルン）は大型商業施設内にありますが、オフィス・スタジオともに可視化され、壁面の大型ビジョンで流れる地上波放送は字幕が表示されています。これは買い物に訪れた聴覚障害者に対して、あらゆる情報を保障する配慮によるものです。OHKはこの受賞を励みに、今後も障害者とともに作る取組を継続し、SDGsの理念を踏まえ、“誰一人情報から取り残されることがない”持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【手話が語る福祉　近年の受賞歴】
2018年　日本民間放送連盟賞 特別表彰部門
「放送と公共性」優秀賞
2019年　全日本ろうあ連盟「厚生文化賞・感謝状」
2019年　社会貢献支援財団
「社会貢献者表彰」「日本財団賞」

【本件に関する問合せ】岡山放送株式会社 企業広報担当 原田 ・福本
TEL ０８６-２５２-３２１８　FAX ０８６-２５４-４１６０